

札幌刑務支所「女子依存症回復支援センター」 が収容を開始します

～受刑段階から出所後の支援と直結した指導を実施～

○ 女性特有の問題に着目した多様なプログラムの実施

週間プログラム（案）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	刑務作業				
午後	センター ミーティング	手仕事 & アート	プリズン ブック クラブ	ソマティクス (ボディワーク)	生活術
	NA/AA/GA メッセージ ミーティング	コアプログラム	センター ミーティング	コアプログラム	センター ミーティング ※

※ 毎週金曜日に、プログラムと並行してカンファレンスを実施する。

コアプログラム(全42回)の概要

<特徴>

- ・女性特有の事情を反映し、出所後も継続使用できるプログラム構成
- ・オープンエンド方式による編入

<内容（主なセッション）>

- ・あなたがここにいる理由
- ・依存症（アディクション）ってなんですか
- ・止めなければいけない？
- ・わたしの応援団
- ・変化していく女性のからだ
- ・グチと相談
- ・依存先を増やす

など

○ プログラムとの相乗効果を期待した特徴的な処遇の実施

刑務作業

農作業を通じて、心身の安定を図る



ビニールハウス

いちごの栽培
(北海道産品種：けんたろう)

いちごの苗

ビニールハウス（内部）

その他

<所内での生活>

- ・薬物の自己使用からの回復という同じ目的を持った者による自主性を重んじた共同生活
- ・出所後の生活環境に近い処遇環境

<出所にあたって>

- ・施設内で使用したテキストを持ち帰り、出所後の更生意欲を喚起

○ 処遇環境の整備

コンセプト：出所後の生活（回復支援施設）に近い環境

居室棟（みのり寮）

～夜間・休日の生活エリア～



居室



入浴場



ホール

女子依存症回復支援センター

～日中活動のエリア～



多目的スペース



ミーティングルーム



寮内